

特集 二つの世界文化遺産をもつまち 長崎文学探訪

第1回

「長崎と天草地方の
潜伏キリシタン関連遺産」と文学

第一回は、遠藤周作の小説、『沈黙』を紹介します。

☆遠藤周作文学館 道の駅（文学館入口）下車 徒歩二分

禁教下の長崎にひそかに上陸し、潜伏キリシタンとの接触到に成功した宣教師ロドリゴは、彼らの生活について、次のように報告します。この場面からは、人々の生活の様子や苦しみがうかがえます。

私は、貴方にもう少し詳しく、信徒たちの秘密組織について書きましよう。この組織のなかに長老の「じいさま」と「とつさま」と呼ぶ役職があつて、「じいさま」が洗礼の秘蹟を受けもち、「とつさま」が祈りや教理を信徒たちに伝えることは申しあげました。

島原の内乱以後、この地方の君主は、徹底的にかくれた基督教徒を探索しはじめ、警吏たちは一日一回は、各部落を巡察してまわりますし、また不意に家宅に侵入してくることがあります。

たとえば、昨年から、すべての家は隣家との間に塀や垣根を作つてはならぬという布告が出ました。たがいの家のウチガワが見とおせるようにして、もし怪しい振舞いをしてる隣人がいれば、すぐ密告させるためです。私たち司祭の居場所を届けた者には、銀三百枚が支払われます。修道士には銀二百枚、どんな信徒でも発見さえすれば、銀百枚が賞金となるのです。これらの金がありにも貧しい農民たちにどんな誘惑になるかをお察し下さい。だから信徒たちは、ほとんど他の村の人間を信じません。モキチやイチゾウといい、あの老人といい、ほとんど人形の面のように表情のない顔をしていることは既に書いた通りですが、その理由が今にして私は、はつきりわかりました。彼

たとは、昨年から、すべての家は隣家との間に塀や垣根を作つてはならぬという布告が出ました。たがいの家のウチガワが見とおせるようにして、もし怪しい振舞いをしてる隣人がいれば、すぐ密告させるためです。私たち司祭の居場所を届けた者には、銀三百枚が支払われます。修道士には銀二百枚、どんな信徒でも発見さえすれば、銀百枚が賞金となるのです。これらの金がありにも貧しい農民たちにどんな誘惑になるかをお察し下さい。だから信徒たちは、ほとんど他の村の人間を信じません。モキチやイチゾウといい、あの老人といい、ほとんど人形の面のように表情のない顔をしていることは既に書いた通りですが、その理由が今にして私は、はつきりわかりました。彼

・ミサ キリスト教における礼拝のための集会。

・警吏 警備の役人。

・島原の内乱

島原・天草の一揆。江戸時代はじめ、天草四郎を中心とするキリシタン信徒が決起し、勢力を拡大しながら約三万七千人が原城に立てこもったが、多くが処刑された。その一年半後にポルトガル人が日本から追放され、「鎖国」が始まった。

・司祭 神父のこと。

今回は、「明治日本の産業革命遺産」と文学について紹介します。お楽しみに。

こちらもおすすめ 長崎を舞台とした作品です。作品の舞台を訪ねてみませんか。

『竜馬がゆく』

司馬遼太郎

船が長崎の港内に入ったとき、竜馬は胸のおどろような思いをおさえかね、「長崎は、わ

ピカッーとひかりました。ドツと大きなおとがしてうちがつぶれました。ぼくははしらの下になりました。

『原子雲の下に生きてー長崎の子供らの手記ー』

永井隆

しの希望じゃ」と陸奥陽之助にいった。

幕末の長崎。坂本竜馬は、日本初の商社「亀山社中」を興し、グラバーから小銃を買

一九四五年八月九日十一時二分。原子爆弾の投下により、長崎は一瞬にして焼け野原と化した。本書は、生き残った子どもたちの手記を集めたものである。平和を希求する

高層アパートが骨をむきだしにして…

い付ける。すべては日本の近代化を進めるため。新しい時代を切り拓こうとする竜馬にとつて長崎は希望にあふれる町であった。

かつて炭鉱として栄えた端島には数千人が住み、働いていた。現在は廃墟となったこの島は、横から見た形から軍艦島と呼ばれている。この島をモデルとした「端島」を舞台に二人の検事が事件のなぞに挑む。

かつて炭鉱として栄えた端島には数千人が住み、働いていた。現在は廃墟となったこの島は、横から見た形から軍艦島と呼ばれている。この島をモデルとした「端島」を舞台に二人の検事が事件のなぞに挑む。

☆長崎港 大波止電停下車 徒歩1分

☆永井隆記念館 大橋電停下車 徒歩十五分

☆端島（軍艦島） 長崎港からクルーズ船あり

江戸町中学校の二年生は、来月、修学旅行で長崎にやってくる京都の中学生と交流学習をすることになりました。二年三組では、京都の中学生に長崎の魅力を紹介するために、旅行雑誌を読んで伝えたいことをまとめる学習をしています。問題冊子Ⅱの【旅行雑誌の一部】を読んで、あとの問いに答えなさい。

一 問題冊子Ⅱの【旅行雑誌の一部】の『沈黙』を読んで、あとの問いに答えなさい。

(1) 「長い秘密の生活がこの信徒たちの顔を仮面のように作ってしまったのです。」について、

(あ) 信徒たちの顔について、別のたとえを用いて表している部分を、『沈黙』本文から十四字で抜き出しなさい。

(い) なぜ、信徒たちの顔は「仮面のように」のですか。「密告」「苦難」という言葉を用いて、「から。」につながるように書きなさい。

(2) 『沈黙』の内容として適切なものを、次の1から5までの中からすべて選びなさい。

- 1 信徒たちは、「じいさま」や「とっさま」などの役職を設けて、組織を作って信仰を守っていた。
- 2 信徒たちは、時々集まっては聖画を眺めたり雑談をかわしたりして、なごやかに過ごしていた。
- 3 信徒たちは、役人だけでなく、隣人からの目も恐れながら、油断することなく生活していた。
- 4 信徒たちは、信仰を隠すためになるべく家から出ないようにしていたので、とても貧しかった。
- 5 信徒たちは、人々に裏切られた経験から、よろこびや悲しみを感じることができなくなっていた。

(3) 『沈黙』という文章の特徴として適切なものを、次の1から4までの中から二つ選びなさい。

- 1 敬語を用いたていねいな言葉遣いで、読み手に語りかけるように述べている。
- 2 取り上げる事柄の一つ一つについて、例や理由を挙げながら説明している。
- 3 専門用語を使わずに、誰にでも伝わる分かりやすい言葉で報告している。
- 4 書き手の気持ちを交えずに、見聞きした事実だけを淡々と語っている。

(4) 『沈黙』本文の――線部①から④のカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直し、ていねいに書きなさい。

- ① 告|げる ② シ|ジ
③ ウ|チガワ ④ 貧|しい

二 【旅行雑誌の一部】の「こちらもおすすめ」にある二つの作品から一冊を、京都の中学生に紹介しようと思います。あなたなら ①『竜馬がゆく』、②『原子雲の下に生きて―長崎の子供らの手記』、③『Puzzle』の、どれを紹介しますか。解答欄に合うように、選んだ作品の番号とその理由を書きなさい。